

2021年9月29日

各位

株式会社 北海道銀行

ESG金融によるシンジケートローンの組成について

北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、太平洋興発株式会社（東京都台東区、代表取締役 板垣 好紀）に対し、当行が主幹事となり、ESG金融（※）としてシンジケーション方式によるコミットメント期間付きタームローン契約の組成を行いましたのでお知らせいたします。

シンジケートローンによる調達資金は、釧路コールマイン株式会社（北海道釧路市、代表取締役 菊地 靖則）への貸付工場建設資金に充当します。

釧路コールマイン株式会社では、経済産業省の補助金採択事業として本年度よりCO₂と石炭灰を鉱物化させる実証実験を開始しています。本工場は実験施設を併設した工場であり、最終的には火力発電等で発生するCO₂を回収し、海底の坑道へ固体として貯留させることで、「脱炭素」・「カーボンニュートラル」の実現によるCO₂削減を目指しております。

国内唯一の坑内掘り炭鉱である釧路コールマイン株式会社では、地元を中心とした火力発電で発生する石炭灰を受け入れし、泥状化させ同社の海底坑道跡の埋め戻しに再利用しており、本工場はその泥状化の新プラントとなります。火力発電の副産物である石炭灰は国内では主にセメント原料として再利用されていますが、本投資による石炭灰処理能力向上は、道外含む石炭灰排出企業に対しCO₂削減資材としての再利用チャネル提供につながります。

太平洋興発株式会社は、工場貸付にとどまらず石炭灰排出企業との交渉や石炭灰輸送面で釧路コールマイン株式会社の環境事業をサポートしていきます。

以上のとおり、本設備投資は「環境（Environment）」・「社会（Social）」に大きく貢献するESGおよびSDGsへの取り組みであり、当行は本趣旨、取り組み意義に賛同いただいた釧路信用金庫（理事長 森村 好幸）とともにシンジケートローン組成に至りました。

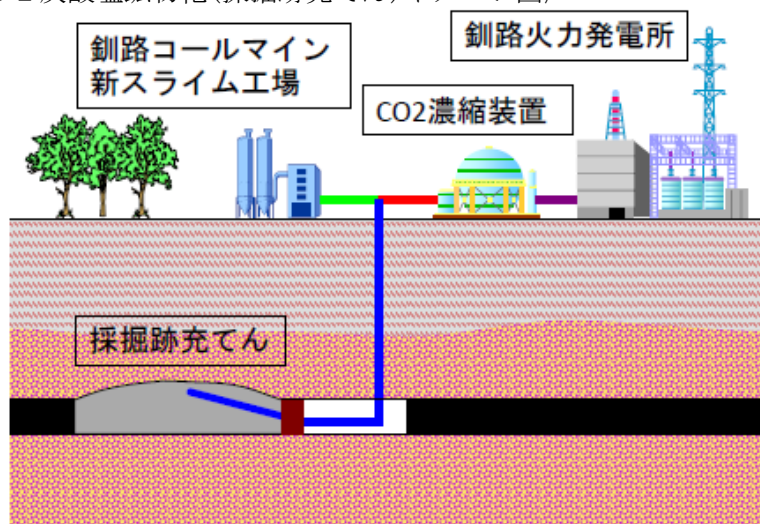
当行は引き続き金融を通じ、地域経済および地域社会の持続的な発展に取り組んでまいります。

（※）ESG金融：「環境・社会・ガバナンス」の要素を考慮して取り組む融資や投資行動。

1. シンジケートローンの内容

- （1）契約日：2021年8月25日（水）
- （2）組成金額：3億円
- （3）アレンジャー：北海道銀行
- （4）エージェント：北海道銀行
- （5）参加行：北海道銀行、釧路信用金庫

〈石炭灰を利用したCO₂炭酸塩鉱物化(採掘跡充てん)イメージ図〉



2. 太平洋興発株式会社の概要

- (1) 本社所在地 : 東京都台東区元浅草二丁目6番7号
- (2) 資本金 : 42億44百万円(2021年6月末時点連結)
- (3) 証券コード : 8835 東京証券取引所市場第一部
- (4) 代表者 : 代表取締役 板垣 好紀
- (5) 設立 : 1920年4月

3. 釧路コーラルマイン株式会社の概要

- (1) 本社所在地 : 北海道釧路市興津五丁目2番23号
- (2) 資本金 : 9,960万円
- (3) 代表者 : 代表取締役 菊地 靖則
- (4) 設立 : 2001年12月

4. 該当するSDGsの目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

【本件に関する照会先】

北海道銀行 コンサルティング営業部 北川・山内 TEL 011-233-1069
広報CSR室 小山・西東 TEL 011-233-1005